

会議録

会議の名称	令和6年度 西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	令和7年2月18日（火曜日）午後1時30分から2時30分まで
開催場所	保谷保健福祉総合センター 6階 講座室2（WEB会議を併用）
出席者	中澤委員（会長）、富永委員、浅野委員、井出委員、池川委員、青柳委員、渡辺委員、篠塚委員、片白委員、長谷川委員（前田委員代理）
欠席者	田中委員、肥沼委員、平山委員、石坂委員、伊集院委員
議題	第3次西東京市健康づくり推進プラン（健康都市プログラム）の進捗について
会議資料の名称	資料1 第3次西東京市健康づくり推進プラン（健康都市プログラム）進捗状況
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開会 2 議題 (1) 第3次西東京市健康づくり推進プラン（健康都市プログラム）の進捗について ●事務局 資料1に基づき説明 この報告について、また、コロナが5類に移行して1年以上経つ中で、身近なところで感じていることなど、委員の皆様からご意見をお願いしたい。 ○会長 5類移行後も保健所等はしっかりと広報しているが、国の動きは積極的ではないので、コロナは終息したと思っている方は多い。しかし、インフルエンザと併せて検査をすると、コロナ陽性の方もたくさんいる。職場で集団発生していることも多い。継続的に発生しており、これからも注視していかないといけない。マスクをしていない方も多いが、まだまだ油断はできないと感じている。去年は多くの方が亡くなっているが、あまり知られていない。感染者の発生状況について、国からも伝えてほしい。 ○A委員 コロナは、軽症者が多いのは確かであるが、今年もインフルエンザが大流行した状況を見ると、5類移行後にマスクをしなくなった人も多く、手洗いなどの基本的な予防対策も疎かになっている気がする。せっかくコロナで動機付けられたことが、また戻ってしまったのはもったいない。 ○B委員 コロナ禍では受診控えがあったが、5類移行後は3～4年ぶりに受診される方が増え	

ている。歯周病が進行している方が多く、今後はそのフォローをしていかなければならないと感じている。

○C委員

コロナの影響かもしれないが、5歳児歯科健診の受診率が、グラフで見ると令和3年度だけ減少している。原因が分かっていたら教えてほしい。

また、学校歯科健診の場面で、マスクの中で口をぽかんと開けている児童が多く、その後どうなっているのか気になっていた。マスクが外れた今、実態は掴めていないが、感覚としては以前より良くなったのではないかと感じている。

●事務局

令和3年度の5歳児歯科健診受診率については、理由がはっきりと分かっていないのが現状である。

○D委員

5類移行後の現状について、有識者から聞いた話では、コロナ禍では手洗い・うがいの習慣が定着し、感染症がかなり抑えられていたが、一方で感染症にかかる機会が減ったことから免疫力が低下し、コロナが5類に移行した今、手洗い等が減り、インフルエンザなどの感染症が増えているのではないかとということだった。基本的な対策については、個人の取組が重要と感じている。保健所では手洗い・マスクの周知もしているが、基本的な対策の広報が大切であると感じる。

○E委員

地域での話としては、色々な事業が5類移行後に再開した。事業によっては、入口で皆さんにアルコール消毒のご協力をお願いしている状況である。社会性の欠如は、フレイルのリスク要因の一つと言われており、市民活動や地域活動が活発に行われることで、フレイルの抑止力の一つになっているのではないかと考えている。

胃がん検診の内視鏡検査は、バリウム検査に比べて一人当たりの検査時間が長いと思う。受診の動向や、希望者の充足率はどのくらいなのか伺いたい。

●事務局

今年度から始まった胃内視鏡検査については、まだ令和6年度の受診者数の集計が出ていないので、明確なことは言えないのだが、申し込みは予定数を上回り、抽選となったためご希望に添えなかった方もいた。市内医療機関で受け入れ可能な人数との兼ね合いで受診者数を設定しているので、今後の課題である。受診率や充足率については、年度が終わった時に精査したい。

○F委員

今日の午前中にジムで4キロ歩いてきた。「あるこ」のウォークラリーイベントでは、12チーム中7位であった。目標は5位なのでもう少し頑張りたい。

また、料理教室が開催されると聞き、とても良いイベントだと思ったが、毎回金曜日なので参加できなかった。金曜日以外の曜日も検討されているかどうか伺いたい。

●事務局

料理教室の日程については、会場の状況などにより設定し、例年3回実施している。

「あるこ」については、現在3市合同イベントを実施中なので、皆様にもぜひご参加いただきたい。

○F委員

料理教室は社会参加としても良い企画なので、もう少し頻繁に行っても良いのではないかと。ご検討いただきたい。

○G委員

コロナに関しては、スーパーの消毒液が撤去されたところもあり、以前は消毒のために行列ができたこともあったが、今は関心が示されていない。最近、知り合いの家族が全員コロナにかかり、また増えてきたなど実感している。以前からの手洗い・うがい・消毒を、私自身は家族で続けており、今後も続けていこうと思う。

また、西東京しゃきしゃき体操については、推進リーダーの養成や、小学校へ出前講座として教育の中に浸透させているのが、とても良い取組だと思った。

健康ポイントアプリ「あるこ」はイベントを2か月に1回実施しているということなので、私も参加したい。

○H委員

多摩湖自転車道路を、週に3回くらい散歩している。5類移行後は、散歩する人が増えた。平日は高齢者が多く、土日はランニングや自転車走行をする若い人が増え、歩きづらくなっているが、それだけ関心を持って身体を動かしている人が増えているのだと思う。

一昨日、青梅マラソンの審判として行ってきた。1万2千人くらいの参加者がいるので、朝の電車はとても混雑していたが、ほとんどの人がマスクをしていなかった。世間的にはコロナは終わったと捉えている人が多いようだが、施設入所中の母がコロナにかかり、実際にはまだコロナは終わっていないと実感したところである。注意喚起できることがもう少しあってもよい。

●I委員

ご報告いただいた内容に関して、令和2年及び3年の児童の肥満傾向が増えているのは、やはりコロナで様々な活動が自粛され、特に皆で一緒に体を動かすことができなかったことが影響しているかと思っている。

5類移行前から、体力向上の取組も少しずつ再開してはいたが、例えば、コロナ禍では過密な状況を避けるため人数制限が必要になり、回数を減らさざるを得ない状況も発生していた。そのようなことが、今年度からだいぶ改善されてきている。

また、出前講座は、本校でもがん教育や認知症サポーター養成講座など再開しており、引き続き子ども自身の健康への意識を高めていけるよう、学校としても取り組んでいきたい。

最後に、子どもたちの感染状況に関し、実際に数字のデータはないので肌感覚だが、5類移行後にまず変わったのが、複数の感染症が同時期に発生したことがある。今まで、例えばインフルエンザが流行する時期、手足口病が流行する時期と、一つの感染症がクラスで流行することが多かったが、今年度は、りんご病、手足口病、コロナ、インフルエンザなど様々な感染症が同時多発的に流行り、クラスの中で複数の感染症にかかっている児童がいる状況だった。このような状況は、過去にあまりなかったと思う。

そして一度感染が広がると、爆発的に増えるのが今年の傾向だった。市内では、学校閉鎖となった小学校もある。児童の免疫力が落ちているのか、コロナ禍でマスクをしていたおかげもあるが、一方でデメリットもあるのかと感じている。学校で気を付けるべきこと、指導するべきことがあったら是非ご助言いただけるとありがたい。

●事務局

コロナに限らず、インフルエンザも流行が見えた時期があったので、市からも感染症予防の注意喚起をしていきたい。

3 その他

○D委員

今年度新設された多摩小平保健所の市町村連携課の役割と取組について紹介

●事務局

本日の議事録は、案を作成次第、皆様にお送りするので、内容をご確認いただき、修正等があれば、期日までにお知らせいただきたい。

令和6年度の協議会としてお集まりいただくのは、本日で最後となるが、令和7年9月の任期終了まで、引き続き西東京市の健康づくりに向けて今後ともご協力いただきたい。

○会長

10年ほど前から、2025年には認知症患者が700万人になると言われており、非常に危惧されていたが、各自治体で認知症に対する啓発や予防運動が盛んになったおかげで、予測より人数が減るというニュースを聞いた。この健康づくり推進協議会の任期は9月までだが、会議としては今日が最後となる。長い期間、委員の皆さんにはお忙しい中ご参加いただき、感謝している。市にもご尽力いただき感謝している。

4 閉会

以上